

朝起きると快晴！ベランダから見える大山が呼んでいたの思い切って江戸時代の庶民の楽しみ、「大山に詣で」をしてきました。



左は大山ケーブル駐車場を出てすぐの紅葉
下はケーブルまでの土産物のお店



下は、大山ケーブルの駅です、まだ朝早すぎて運転していません。



下は大山下社に至る2本の登山道、男坂女坂の分かれ道の標識、先月は男坂を使ったので本日は途中の大山寺を経由する女坂を選びました。



下の紅葉は大山寺！
燃えるような「もみじ」逆光で残念です。



右は下社階段下の紅葉です。



大山阿夫利神社下社
第10代崇神天皇の頃（紀元前97年頃）
の創建と伝えられ、山頂に本社、標高700
メートルの中腹に下社があります。

下社の左脇から登山道に至る参道の紅葉です。



登山道の眺望スポット「夫婦杉」

最高の眺望スポット「富士見台」！
江戸の昔から「詣で人」を慰めています。



下社が1丁目、登り、登ること90分、
28丁目を数えてやっと山頂の雰囲気
が感じられ、社を含む建物群が見えます。
その先は青く、素晴らしい眺望を期待
させてくれます。
その期待は裏切られることなく文字通
り、息を飲む絶景でした。

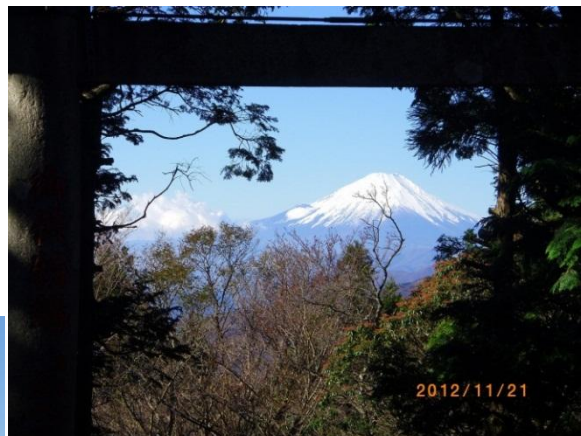
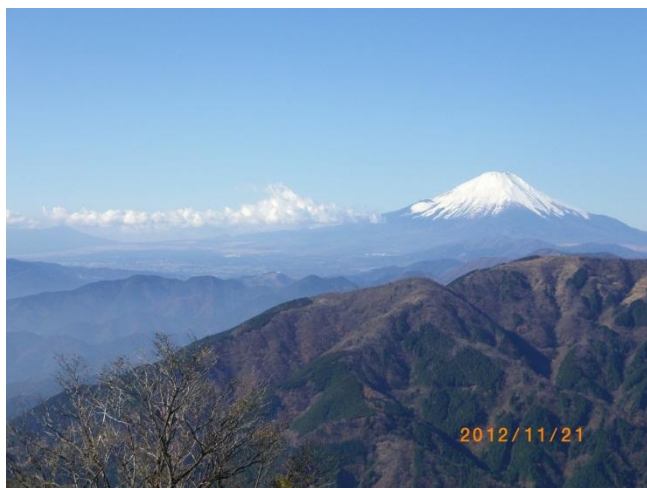
右は大山山頂です。

1252m の眺めは雄大で伊豆半島、小田原から相模灘全面から江の島を小さく見て三浦半島を一望できます。



左は大山山頂の本社、下社に比べ規模は小さいですが存在感を示してくれます。

右は、鳥居越しに見る富士山です、山頂に至る鳥居をくぐり、振り替えると富士山、まさに登山の苦勞を慰めてくれるようなやさしいたざまいです。



左：山頂にある通信施設を回り込むと周囲の山々越しに雄大な富士山が望めます。東富士演習場もハッキリと確認できます。この上ない天気なので時間を忘れてみとれていました。

右の写真は大山ケーブル下社駅です。年を考えて、ここからはケーブルカーで下山することにしました。お昼前に終わった「思いつき散歩」でした。山もたまには良いものです。

